



マレーシアの詳細や
最新観光情報は
こちらのサイトをチェック!



マレーシア政府観光局



tourismmalaysia.or.jp



Facebook



X



Instagram



YouTube



オフィシャルブログ



マレーシア教育旅行サイト



nta.co.jp/education/kaigai/malaysia/

株式会社 **日本旅行**

〒103-8266 東京都中央区日本橋 1-19-1

日本橋ダイヤビルディング

TEL: 03-6895-7766 (ソリューション事業本部 教育事業部)

発行 2025年10月 第2版
※本誌掲載の情報は2025年10月時点のものです。内容は予告なしに変更する場合があります。
※本書に掲載の写真はイメージです。実際の状況とは異なる場合があります。

マレーシア 探究学習 ワークブック

～マレーシアの多様な文化と豊かな自然に学ぶ～



クラス・氏名

多民族国家から学ぶ、 文化の共存と真の多様性



©マレーシア政府観光局



©マレーシア政府観光局



マレーシア観光年2026 公式キャラクター ウィラ・マンジャ

現在、マレーシア政府は、世界中の観光客に向けてマレーシアの多様な魅力を発信することを目的とした「マレーシア観光年2026」(Visit Malaysia 2026)のキャンペーンを実施中です。公式キャラクターのウィラとマンジャは、マレーシアに生息する絶滅危惧種「マレーグマ」がモチーフとなっています。野生動物の保護に対するマレーシアの揺るぎない姿勢を示すものとして、マレーグマが起用されました。

目次

マレーシアで学べること

学びの流れ.....p3

STEP 1 マレーシアを知ろう!

マレーシア基本情報p5

STEP 2 事前学習で理解を深めよう!

多民族文化と歴史的背景.....p7

生活と習慣.....p9

動植物多様性と自然環境.....p11

豊かな食文化.....p13

経済と産業.....p15

STEP 3 現地学習でさらなる発見と知見を広めよう!

世界文化遺産マラッカと歴史探訪.....p17

世界文化遺産ジョージタウンと歴史探訪.....p19

マーメリ文化村.....p21

マリマリ文化村.....p23

サラワク文化村.....p25

プトラ大学訪問・語学研修.....p27

ペナン科学大学訪問とファームステイ.....p29

セリ・ララン国立中等学校.....p31

オランウータン保護施設と植樹体験.....p33

ザ・ハビタット・ペナンヒル.....p35

ジャングルクルーズ.....p37

バコ国立公園トレッキングと植樹体験.....p39

専門学校での調理実習と学校交流.....p41

UKファーム.....p43

オラン・アスリ ジャングルスクール.....p45

日系企業訪問.....p47

カンボンビジット ジョホールバル近郊.....p49

カンボンビジット マラッカ近郊.....p51

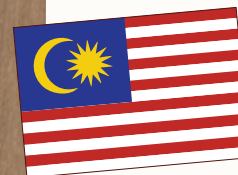
世界文化遺産マレーシア森林研究所FRIM.....p53

マレーシア政府観光局訪問.....p55

マレーシア農業・食糧安全保障省訪問.....p57

ハラル産業開発公社訪問.....p59

STEP 4 現地学習で学んだことを振り返ろう!.....p61



マレーシアで学べること

学びの流れ

- STEP 1 マレーシアを知ろう！**
STEP1でマレーシアの基本的な情報を理解しましょう。
- STEP 2 事前学習で理解を深めよう！**
STEP2でマレーシアの文化、歴史、生活、産業について学び、日本との違いや共通点について考察してみましょう。
- STEP 3 現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！**
STEP3で自分が参加するプログラムについて事前に調べ、現地での体験を通じて得たことや日本との違い、感想を整理しておきましょう。
- STEP 4 事後学習で学んだことを振り返ろう！**
STEP4で①～③で学んだことを振り返り、特に印象に残った点やマレーシアを訪問する前後での自分の変化について考えてみましょう。この経験を通じて得た知識や感情を整理し、今後の自分にどのように活かすことができるかを深く考察してみてください。

1 サステナビリティ 未来に紡ぐ 持続可能性

貧困や気候・食糧問題など人類はこれまでになかった多数の問題を抱え、このままでは安定した暮らしができなくなると心配されています。そこで、世界中で「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」が掲げられ、達成に向け各国で様々な取り組みがなされています。このように聞くと身近に感じにくいかもしれませんが、みなさんの将来に残したい文化や自然、生活環境などを思い浮かべてみてください。思い描いた未来を実現するために一人ひとり行動することがSDGsへの第一歩となります。

また、SDGsの課題は複数の問題が複雑に絡み合っています。一つの側面から考えるのではなく、広い視野を持って取り組んでみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2 多民族国家ならではの 共生社会



日本の社会課題

日本は現在、少子高齢化や労働人口の減少といった深刻な社会問題に直面しています。外国人労働者の増加や一億総活躍社会の推進に伴い、様々な背景や異なる特性、文化、価値観を持つ人々と共に活動し、生活する機会が増えています。このような状況の中で、今後の日本社会において多様性や共存社会を学ぶことの重要性が高まっています。

共生社会とマレーシアの多様性

多民族国家であるマレーシアは、マレー系、中華系、インド系、先住民族などが共存し、異なる文化や価値観を持つ人々が協力して生活しています。この環境で学ぶことは、相互理解や尊重の重要性を体感し、多様性を受け入れる力を養う貴重な機会です。マレーシアでの経験を通じて、多様性の理解を深めることができ、未来の日本社会においても役立つ視点を得ることができるでしょう。

3 文化や経済を守るための 自然との共存

環境の変化

近年の日本の気象は顕著な変化を見せています。温暖化の影響で夏の猛暑や冬の暖冬が進み、秋と春が短くなっています。また、豪雨や台風の強度が増し、洪水や土砂災害のリスクが高まっています。これらの変化は農業や水資源、生活環境に深刻な影響を及ぼし、自然環境や生態系にも影響を与えています。持続可能な解決策を見つけることが求められています。



マレーシアの自然との共存

マレーシアは熱帯雨林や山岳地帯など豊かな自然環境と多様な生態系で知られています。オランウータンやラフレシアなどの貴重な動植物が生息し、生物多様性の保護が重要なテーマとなっています。政府は国立公園や保護区を設け、絶滅危惧種の保護や生態系の維持に取り組んでいます。先住民族や地域コミュニティは、自然との共存を大切にし、持続可能な方法で資源を利用し、伝統的な知識を次の世代に伝えています。また、エコツーリズムが盛んで、観光客は環境保護の重要性を学びつつ地域経済にも貢献しています。持続可能な農業や林業の取り組みも進められ、特にパーム油の生産では環境への影響を最小限に抑える方法が導入されています。マレーシアの自然との共存は、地域の文化や経済に深く関わり、持続可能な未来を築くための基盤となっています。

STEP 1

マレーシアを知ろう！ マレーシア基本情報

地理



マレーシアは、マレー半島とボルネオ島北部からなる東南アジアの国家です。マレー半島は北はタイ、南はシンガポール、西はインド洋、東は南シナ海に面しています。国土面積は日本より一回り小さい約33万kmでその内約60%が多様な生命を育むジャングルです。



氣候

マレーシアは赤道付近にあり、熱帯雨林気候に属しています。年間を通じて平均 25℃～32℃位の気温で、日本の初夏のような気候です。明確な四季はなく、雨季と乾季があります。雨季でも日本の梅雨のように一日中降り続けることはありません。

【季節のめやす】

マレー半島の西側 ▶ 雨季：5月～9月 乾季：10月～4月

マレー半島東側・ボルネオ島 ▶ 雨季：10月～3月 乾季：4月～9月



人種と言語



マレーシアの人口は約3,350万人で、マレー系(約58%)、中華系(約23%)、インド系(約7%)、先住民族(約12%)からなる多民族国家です。

それぞれ民族独自の言語、食習慣、宗教、生活様式を持ちながら、他の民族と共存しています。(詳細はp7を参照)

公用語はマレー語ですが、中国語、タミル語等各民族の言語も使われます。

各民族の共通言語として、英語がよく使われ、ほとんどのマレーシア人がバイリンガル以上です。

旅の情報

日本からの行き方

日本からマレーシアまでは、東京（成田／羽田）・大阪（関西）と首都クアラルンプールを結ぶ直行便が運航しています。フライト時間は約7時間。また、ボルネオ島コタキナバルにはクアラルンプールで乗り継いで約2時間半、クチンへは約2時間です。季節便で日本からコタキナバルまで直行便（約6時間）が運行する時もあります。そのほか、アジア各都市を乗り継いでマレーシアへアクセスすることもできます。

通貨

マレーシア・リングgit (RM)



100、50、20、10、5、1 の 6 種の紙幣があります。リングギット以下の単位にマレーシア・セン(SEN)があり、1リングギットは100セン。50、20、10、5の4種のコインです。一部紙幣はプラスチック製で裏面には美しいマレーシアならではの多様な文化や自然が描かれています。



服装

マレーシアは年間平均気温約 27℃の高温多湿の南国です。一年中、Tシャツ、短パン、サンダルといった夏の服装で過ごすことができます。外は暑いのですが、ホテル、レストラン、ショッピングモールなどの建物の中は、冷房が効いていて、ときに寒く感じることもあります。そのため一枚羽織るための薄手の上着があると安心です。マレーシアの国教はイスラム教なので、礼拝堂のモスクを見学する際はヒジャブやローブの着用が必要です。主要なモスクでは無料でローブを貸し出しています。

マレー語の挨拶

よく使用する挨拶は覚えておき、実際にコミュニケーションをとってみましょう。

日本語	マレー語	読み方
おはようございます	Selamat pagi	スラマツ バギ
こんにちは(正午)	Selamat tengah hari	スラマツ タンガ ハリ
こんにちは(午後)／こんばんは	Selamat petang	スラマツ プタン
おやすみなさい	Selamat malam	スラマツ マラ(ム)
ありがとう	Terima kasih	テリマカシ
どういたしまして	sama sama	サマサマ
お元気ですか?	Apa khabar?	アパ カバー?
さようなら(去る人に対して)	Selamat jalan	スラマツ ジャラン
さようなら(留まる人に対して)	Selamat tinggal	スラマツ ティンガル

時差

日本との時差はたったのマイナス1時間。日本が午前8時なら、マレーシアは午前7時になります。時差がほとんどないので、体の負担はほぼありません。



入国手続き

日本国籍で、観光や商用目的での90日以内の滞在についてはビザは不要です。但し、入国時にパスポートの有効期限が6ヶ月以上残っている事と帰路(または次の目的地)の航空券の所持が必要です。

デジタルアライバルカード

マレーシアに入国する場合、事前のマレーシアデジタルアライバルカードの登録が必須となっています。マレーシア到着日を含む3日前からマレーシア入国前までに登録が必要です。

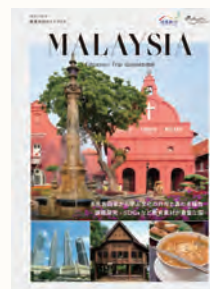


持ち物

陽射しが強いので、日焼け止め持参をおすすめします。折り畳み傘があると通り雨だけでなく日除けにも使えます。ホテル以外の場所では備え付けの紙がない場所もあるので、ポケットティッシュは必携です。また、マレーシアは環境保護の為レジ袋廃止を推進しており、レジ袋が購入できません。エコバッグを持参してください。熱帯雨林や緑の多い郊外では、虫よけスプレーなどの防虫対策をしてください。

- 折り畳み傘
- ポケットティッシュ
- 常備薬
- 日焼け止め
- モバイルバッテリー
- 酔い止め薬
- 虫よけ
- 薄手の上着
- エコバッグ

マレーシア教育旅行ガイド



マレーシア
教育旅行ガイドブック



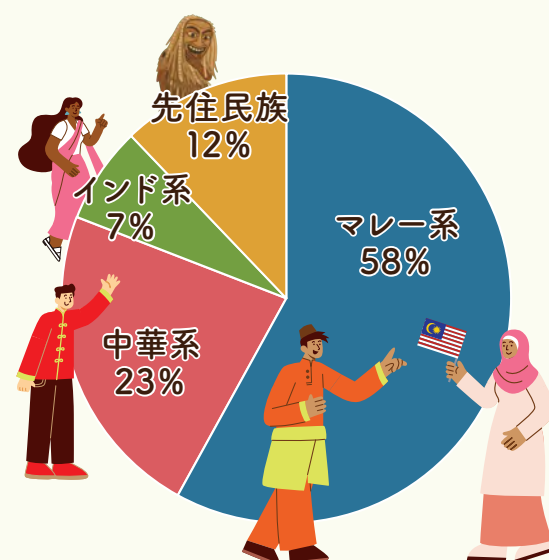
STEP 2

事前学習で理解を深めよう！

マレーシアの多民族文化と歴史的背景

多民族文化のマレーシア

マレーシアは人口約3,350万人のうち、マレー系(約58%)・中華系(約23%)・インド系(約7%)、多数の先住民族(約12%)で構成されています。マレーシアの国教はイスラム教で、日本から一番近いイスラム教国家です。言語、服装、宗教など文化背景の異なる多種多様な民族が共生していて、お互いの文化を尊重しながら同じマレーシア人として平和に暮らしています。



マレーシアの歴史

マレーシアの歴史は1396年のマラッカ建国から始まります。ポルトガル、オランダ、イギリスと大航海時代の波を受け、日本の占領下を経たのち、マラヤ連邦として、1957年に独立。そして1965年に現在のマレーシアになりました。主要な民族であるマレー系は昔からこの地で暮らしていた人たち。中華系、インド系の多くは、19世紀にわたってきた移民が祖先です。

◀オランダ広場／マラッカ

ピンクの建物が印象的な「マラッカ・キリスト教会」がシンボルとなっているオランダ広場。ポルトガル軍によって建設された「セントポール教会」や「サンチャゴ砦」が残っており、マレーシアの歴史が色濃く残る場所です。

マレーシアの国旗

マレーシア国旗の赤と白の線を数えると14本あります。これはマレーシアの13の州と連邦直轄区であるクアラルンプールを加えた数です。また黄色い月と星は、国教であるイスラム教のシンボルマーク。ちなみに13州には、それぞれ州の旗もあります。

毎年、8月31日のナショナルデーが近づくと、街中に国旗が掲げられます。



マレーシアで使われている言語について調べてみよう

それぞれの民族の言葉や共通言語についてなど

マレーシアの歴史について詳しく調べてみよう

多民族国家となった背景など

日本との違いや共通点について考えてみよう

STEP 2

事前学習で理解を深めよう！ マレーシアの生活と習慣

衣服の違いについて

多民族国家のマレーシアには各民族が受け継いできた伝統衣装が多数存在します。例えば、マレー系の「バジュ・クルン」や中華系の「チョン・サム」、インド系の「サリー」などそれぞれの民族の文化や習慣が反映されたデザインとなっています。また、マレーシアの国教はイスラム教のため、多くのマレーシア人がイスラム教を信仰しています。イスラム教と言えば女性が身につけているヒジャブが代表的です。ヒジャブは頭や身体を覆うための布で、イスラム教を信仰する女性に対し着用を法的に義務付けています。マレーシアでは、黒色以外のヒジャブもTPOに合わせて着用されています。

プラナカン系などの「クバヤ」▶



宗教の違いとお祈りのスタイル

マレーシアは多民族・多宗教の国で、イスラム教、仏教、キリスト教、ヒンドゥー教などが共存しています。イスラム教（国教）では偶像崇拜を行わず、方角（メッカ）を向いて礼拝用マットの上で一日5回の祈りを行います。一方、仏教やヒンドゥー教では仏像や神像への礼拝があり、花やお香を供えるなど、宗教ごとに異なる祈りのスタイルが見られます。イスラム教の礼拝堂であるモスクに入館する時は、頭や身体を覆うためのヒジャブやローブの着用が必要になります。観光地としても有名なモスクでは、入館前に貸し出しを行っています。

◀ プトラモスク（通称：ピンクモスク）／プトラジャヤ

食事のとり方

イスラム教では、イスラム教の聖典であるコーランに厳密なルールが記されています。例えば、右手は聖なる手、左手は不浄の手とされているため、素手で食事を摂る際に左手を使用するのはマナー違反となります。物の受け渡しや握手は右手で行いましょう。トイレで用を足す際は左手を使用します。また、イスラム教徒は、豚肉、アルコールを摂ることは禁止されています。しかし、多民族国家のマレーシアでは、他の宗教を信仰している人も多く、豚肉やアルコールを提供するお店もたくさんあります。イスラム教徒は、ハラル認証マーク（p13参照）やポークフリー（豚肉不使用）を掲げているレストランを選んで利用しています。



マレーシアにはどのような生活習慣があるか調べてみよう

民族や宗教の違いによる習慣など

マレーシアの宗教の多様性について調べてみよう

宗教施設にはどんなものがあるかなど

日本との違いや共通点について考えてみよう

POINT ウィラ・マンジャの服装にも注目してみよう！

本書には様々な民族衣装を着たウィラ・マンジャがいます。ぜひ服装にも着目してくださいね！



STEP 2

事前学習で理解を深めよう！

マレーシアの動植物多様性と自然環境



マレーシアの気候

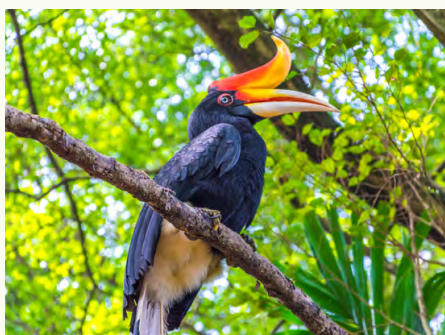
マレーシアの年間の平均気温は約27℃。高温多湿の南国です。一年中、Tシャツ、短パン、サンダルといった夏の服装で過ごすことができます。意外に思われるかもしれませんが、日本の真夏のように35℃を超える日は少なく、朝夕は25℃前後と比較的過ごしやすいです。乾季と雨季があり、マレー半島東部やボルネオ島は10～3月、マレー半島西部は5～9月が雨の多い季節になります。ただし、日本の梅雨のように一日中雨が降り続けることはあまりなく、最近は気候変動の影響を受け、時期はあいまいになっています。

マレーシアの動植物

国土の3分の2を太古の熱帯雨林が覆うマレーシア。なかでも、世界で3番目に大きい島・ボルネオ島にはユネスコ世界遺産の自然（キナバル自然公園）などの広大な森があり、世界に類をみない多様な動植物が生息しています。コタキナバル近郊のジャングルクルーズでは、国鳥のサイチョウ（ホーンビル）や絶滅危惧種のテングザルやカニクイザルといった希少な動物たちを見ることが出来ます。また、クチンのセメンゴ野生動物リハビリ・センターでは、愛らしい姿のオランウータンにも遭遇することができます。また、ジャングルに咲く世界最大の花・ラフレシアも有名で、大きいものは直径1メートルにもなります。

ジャングルだけでなく、海の生物たちも豊富です。甲羅の売買や環境汚染などで絶滅の危機に瀕しているウミガメ。マレーシアには産卵に訪れる浜辺が各地にあり、保護活動に取り組んでいます。

そのほかにも、マングローブなど熱帯地方ならではの生態系を見ることができます。



©マレーシア政府観光局

マレーシアの多様な動植物について調べてみよう

日本にはいないマレーシア・ボルネオ島でしか生息していない動植物やその生態など

マレーシアの自然環境保護における課題について調べてみよう

なぜ絶滅危惧種となったのかなど

日本での自然環境保護はどのようなものがあるか調べて、マレーシアの取り組みと比べてみよう

STEP 2

事前学習で理解を深めよう！ マレーシアの豊かな食文化

スダマカン？
Sudah Makan?



多民族国家ならではの多様さと美食

多様な民族がともに暮らすマレーシアの料理は驚くほどバラエティに富んでいます。ココナッツミルクとスパイスのマレー料理、点心から麺まで多種多彩な中華料理、香り豊かなカレー文化のインド料理、そしてマレーシア発祥のニョニャ料理。この4つのグループを中心に広がる多彩な味は、多文化が共存するマレーシアそのものです。ちなみに、マレーシアでいちばんポピュラーな挨拶は「スダマカン?」。ご飯食べた?という意味で、それほど食文化が生活の中心にあることを表しています。

マレー料理 / ナシレマ



中華料理 / 点心



インド料理 / ロティチャナイ



ニョニャ料理 / オタオタ

ハラール (Halal) とは

ハラールとは、イスラム教の教え(シャリーア)にしたがって「食べたり使ったりしてもよい」とされるもののことです。アラビア語で「許された」「合法的」という意味があります。また、マレーシアのハラール認証は、国の機関であるJAKIM (ジャキム: マレーシア イスラム開発庁) が主導しており、その基準は国際的にも高く評価されています。

▼ マレーシアのハラール認証
JAKIM (ジャキム)



マレーシアの多様な食文化について調べてみよう

宗教や地域による違いなど

ハラールについて詳しく調べてみよう

どのようなものがハラールなのかなど

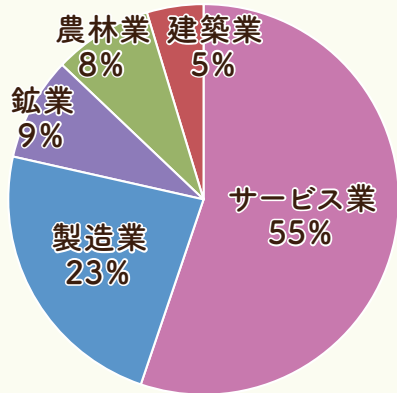
日本での食文化についても調べて、マレーシアとの違いについても考えてみよう

事前学習で理解を深めよう！
マレーシアの経済と産業

マレーシアの主な産業とその移り変わり

マレーシアは、かつてゴムやスズ、パーム油などの第1次産業（農業・資源）が経済の中心でした。しかし、政府の積極的な産業政策により、電子機器や電気製品などの製造業が急成長しました。また、1980年代に導入された「ルックイースト政策」によって、日本や韓国の先進技術を学び、製造業の発展がさらに加速しました。現在では、観光、教育、金融、ITなどのサービス産業が拡大し、経済の柱となっています。日本との貿易については、日本の対マレーシア輸出は電気・電子関連製品が約4分の1を占め、マレーシアの対日輸出は液化天然ガス（LNG）等の鉱物性燃料が多くを占めています。

マレーシアの GDP 産業別構成比



2017 年マレーシア統計庁



マレーシアの貿易相手国は輸出入ともに日本が第5位！
意外と日本とマレーシアは身近な国なんです。
食品の裏の表示を見ると原産国がマレーシアなんてことも！
ぜひ意識してチェックしてみてくださいね！



貿易取引品目と貿易相手国

主要貿易品目（単位：100 万リンギット、%）

輸出		2023 年	2024 年	構成比	伸び率
	電気・電子部品	575,455	601,183	39.9	4.5
	金属・鉱物	227,736	209,133	13.9	△ 8.2
	パーム油・同製品	102,160	114,381	7.6	12.0
	専門・科学・制御機器	50,329	54,805	3.6	8.9
	合計（その他含む）	1,426,199	1,507,725	100.0	5.7
輸入		2023 年	2024 年	構成比	伸び率
	電気・電子部品	355,945	455,678	33.2	28.0
	石油製品	130,253	121,470	8.9	△ 6.7
	原油	60,972	63,167	4.6	3.6
	特殊機械・同部品	21,948	31,196	2.3	42.1
	合計（その他含む）	1,211,044	1,370,841	100.0	13.2

〔統計実施年〕2024年〔出所〕マレーシア統計局

主要貿易相手国（単位：100 万リンギット、%）

輸出相手国		2023 年	2024 年	構成比	伸び率
	シンガポール	219,295	230,863	15.3	5.3
	中国	191,885	187,671	12.4	△ 2.2
	米国	161,272	198,647	13.2	23.2
	香港	89,836	88,837	5.9	△ 1.1
	日本	85,830	82,616	5.5	△ 3.7
	合計（その他含む）	1,426,199	1,507,725	100.0	5.7
輸入相手国		2023 年	2024 年	構成比	伸び率
	中国	258,127	296,451	21.6	14.8
	シンガポール	143,726	165,363	12.1	15.1
	米国	88,850	126,260	9.2	42.1
	台湾	83,795	109,116	8.0	30.2
	日本	70,917	70,142	5.1	△ 1.1
	合計（その他含む）	1,211,044	1,370,841	100.0	13.2

〔統計実施年〕2024年〔出所〕マレーシア統計局

マレーシアの産業について調べてみよう

主要産業やその特徴についてなど

マレーシアに進出している日系企業について調べてみよう

マレーシアに進出した理由など

日本の主要産業についても調べて、マレーシアとの違いを比べてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ 世界文化遺産マラッカと歴史探訪



テーマ：歴史探訪、多様性、多文化共生

エリア：マレー半島南部 マラッカ州、マラッカ

プログラム：世界遺産地区散策

訪問先：世界文化遺産地区

オランダ広場、セント・パールの丘、ジョンカーストリートなど

15世紀の大航海時代、香辛料を求めてヨーロッパ諸国がアジアへ進出する中、マラッカは東西の文化が交わる交易都市として発展しました。イスラム商人との交流を通じてイスラム教が広まり、イスラム、ポルトガル、オランダ、イギリスなど多様な文化が融合した街並みは、異文化共存の象徴として世界文化遺産に登録されています。



▲ オランダ広場



▲ ジョンカーストリート



▲ セント・ポール教会礼拝堂史跡

サンプルスケジュール

9:00	市内ホテル出発
9:30-11:00	オランダ広場、セント・パールの丘見学
11:00-12:00	ジョンカーストリート散策
12:00-13:00	マラッカ市内で昼食

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

各時代の世界情勢・背景など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ 世界文化遺産ジョージタウンと歴史探訪



テーマ：歴史探訪、多様性、多文化共生

エリア：マレー半島北西部 ペナン島、ジョージタウン

プログラム：世界遺産地区散策、歴史博物館訪問

訪問先：世界文化遺産
ジョージタウン、歴史博物館、ハーモニーストリート

ジョージタウンは18世紀後半、イギリス東インド会社によって開かれた港町で、アジアとヨーロッパを結ぶ貿易拠点として発展しました。中華系、マレー系、インド系、ヨーロッパ系が共存する多文化都市として栄え、東西文化が融合した街並みが現在も残されています。植民地時代の都市構造と多文化社会の調和を今に伝える「生きた遺産」として、異文化共生の象徴として世界的に評価されています。



▲ 歴史博物館



▲ ブルーマンション



▲ ハーモニーストリート

サンプルスケジュール

9:00	市内ホテル出発
9:30-10:30	ペナン歴史博物館見学
10:30-11:30	ハーモニーストリート見学
11:30-12:30	アルメニアン通り自由散策
12:30-13:30	ジョージタウン付近で昼食

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

ペナン島の植民地時代の影響や多文化共生の歴史など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ マーメリ文化村



テーマ：多文化共生、信仰と芸術の学び

エリア：マレー半島南西部 セランゴール州、クアラルンプール郊外

プログラム：文化村施設訪問

訪問先：マーメリ文化村

マレー半島の先住民族マーメリ族の精霊信仰や木彫仮面、舞踊など独自の文化を体験できる施設です。精霊信仰と芸術が融合した精神文化を継承し、伝統と地域振興を両立する姿から、信仰と芸術を通じて文化継承の意義を学ぶことができます。



©マレーシア政府観光局

サンプルスケジュール

9:00	市内ホテル出発
10:00	マーメリ文化村到着
10:00-11:00	村内見学
11:00-12:00	民族舞踊見学とアクティビティ体験
12:00-13:00	村内で昼食

マーメリ文化村



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

マレー半島の先住民族の部族名など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ マリマリ文化村



テーマ：多文化共生、信仰と芸術の学び

エリア：ボルネオ島 サバ州、コタキナバル

プログラム：文化村施設訪問

訪問先：マリマリ文化村

サバ州の主要5部族の先住民族の暮らしや伝統文化を体験できる施設です。狩猟や農耕を中心とした自然との共生の暮らしをリアルに再現しており、自然環境と調和した生活の知恵や文化を学ぶことができます。人と自然の共生をテーマにした貴重な体験型学習の場です。



©マレーシア政府観光局

サンプルスケジュール

9:00	市内ホテル出発
10:00	マリマリ文化村到着
10:00-11:00	村内見学
11:00-12:00	民族舞踊見学
12:00-13:00	村内で昼食

マリマリ文化村



©サバ州観光局

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

ボルネオ島サバ州の先住民族の部族など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ サラワク文化村



テーマ：多文化共生、持続可能な文化

エリア：ボルネオ島 サラワク州、クチン

プログラム：文化村施設訪問

訪問先：サラワク文化村

サラワク文化村は、多民族社会を象徴する州規模の文化展示で、7つの民族の伝統家屋を見学し、多様な生活様式や長屋文化を体感できます。多民族共生や自然と共に生きる知恵を学びながら、伝統を守りつつ観光と教育を通じて文化を継承する、持続可能な学びの場として知られています。



©サラワク州観光局



©マレーシア政府観光局



©サラワク州観光局



©サラワク州観光局

©サラワク州観光局



©サラワク州観光局

サンプルスケジュール

9:00	市内ホテル出発
10:00	サラワク文化村到着
10:30-11:30	伝統家屋見学
11:30-12:30	民族舞踊見学
12:30-13:30	村内で昼食

サラワク文化村



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

サラワク州主要7部族を調べ、それぞれの特徴や文化など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ プトラ大学訪問・語学研修



テーマ：語学研修、国際交流

エリア：マレー半島南部、プトラジャヤ

プログラム：語学研修、国際交流、環境問題等各テーマ

訪問先：国立大学
マレーシア プトラ大学 (UPM)

農学、獣医学、医学、工学、IT等幅広い科学技術分野を網羅する総合大学で、特にバイオマスのリサイクル等の農業系の研究が活発です。1日コース、3日コースなど様々なコースがあり、語学研修からアップサイクルやバイオマステクノロジーまでプログラム内容も多岐に渡ります。同世代の学生との国際交流を通じて、日本との違いを知ることができます。



サンプルスケジュール

8:00	市内ホテル出発
9:00-9:30	学校到着、歓迎式典
9:30-10:30	バイオマスに関する講義と意見交換
10:30-11:15	バイオマステクノロジーセンター見学
11:15-12:15	SDGsに関する講義と意見交換
12:15-13:00	現地学生と校内で昼食

プトラ大学



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

予定されているプログラム内容など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ ペナン科学大学訪問とファームステイ



テーマ：語学研修、国際交流、各テーマ研究

エリア：マレー半島北西部 ペナン州、ペナン島

プログラム：語学研修、国際交流、環境問題等各テーマ

訪問先：国立大学
ペナン科学大学（USM）

1969年にマレーシアで2番目の大学として設立された、同国を代表する総合大学の一つです。マレーシア政府より「研究拠点大学」に指定され、特に科学技術分野の研究に注力しています。
キャンパスでは語学研修やマレーシア文化交流など、多彩な体験プログラムを受けることができます。
近郊のファームステイでは、マレーシア伝統建築であるマレー・ハウスに宿泊することもでき、現地の暮らしや文化を肌で感じる貴重な体験が可能です。



サンプルスケジュール

8:30	市内ホテル出発
9:00-9:30	学校到着、歓迎式典
9:30-11:00	各テーマ講義
11:00-12:00	校内見学
12:00-13:00	現地学生と校内で昼食

ペナン科学大学



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

予定されているプログラム内容など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ セリ・ララン国立中等学校



テーマ：国際交流、異文化交流

エリア：マレー半島南部 ジョホール州、アエ・ヒタン村

プログラム：国際交流、異文化交流

訪問先：国立中等学校

アエ・ヒタンに位置するセリ・ララン国立中等学校は、マレー系の伝統文化が色濃く息づく学校です。特にマレー系の文化に触れる機会が豊富で、マレーシアの伝統的な遊びや行事、日本の書道などの文化紹介活動を通じて異文化理解が深まります。地域に密着した教育を行っているため、地元の学生との日常的な交流を通じて国際的な視点や社会性を学ぶことができます。本格的な異文化交流は、貴重な体験となるでしょう。



サンプルスケジュール

8:00	市内ホテル出発
9:00-9:30	学校到着、歓迎式典
9:30-11:00	校内見学
11:00-12:00	現地学生との交流アクティビティ
12:00-13:00	現地学生と校内で昼食

セリ・ララン国立中等学校



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

マレーシアの教育制度など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！
オランウータン保護施設と植樹体験



テ ー マ：絶滅危惧保護、生態系のつながりと多様性
エ リ ア：ボルネオ島 サラワク州、クチン
プログラム：オランウータン観察、植樹体験
訪 問 先：野生動物保護施設、植物園 セメンゴ野生動物保護センター、サラワク植物公園

怪我をしたり親とはぐれたオランウータンを保護・リハビリするセンターを訪れ、野生に近い環境で暮らすオランウータンの給餌の様子を観察します。人間と野生動物が共に生きるための取り組みを学ぶとともに、植物園での食事体験を通して森林伐採や生息地破壊の現状を知り、自然保全の大切さを実感することができます。



サンプルスケジュール	
8:00	市内ホテル出発
8:40	セメンゴ野生動物保護センター到着
9:00-10:00	オランウータンの給餌観察
11:00-12:00	市内で熱帯雨林についての講義
12:00-13:00	市内で昼食
13:30-14:30	サラワク植物公園で植樹体験

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

オランウータンの生息地や特徴など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ ザ・ハビタット・ペナンヒル



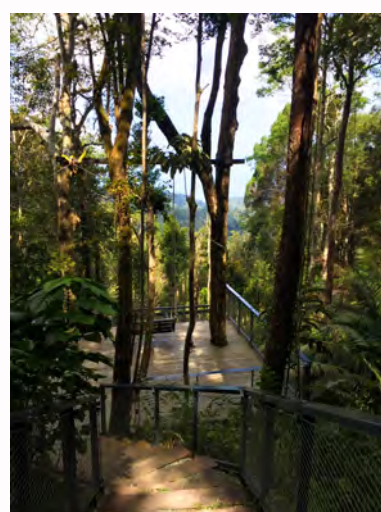
テーマ：自然環境保護、生物多様性

エリア：マレー半島北西部 ペナン州、ペナン島

プログラム：ユネスコ生物圏保護区訪問、動植物観察

訪問先：ザ・ハビタット・ペナンヒル

ザ・ハビタット・ペナンヒルは、1億3千万年前から現存する世界最古の熱帯雨林を体験できる場所です。ツリートップウォークでは、ペナンの街を360度見渡す絶景を楽しみながら、ネイチャーガイドと共に散策し、野生生物や珍しい植物を観察できます。ペナンヒルの自然と歴史に触れることで、自然環境と生態系についての理解が深まるとともに、持続可能な観光と環境保護の重要性を学ぶことができます。



©マレーシア政府観光局

ザ・ハビタット・ペナンヒル



サンプルスケジュール

9:00	市内ホテル出発
9:30	ケーブルカーでペナンヒルへ
10:00-12:00	ネイチャーガイドと太古の熱帯雨林散策
12:00-13:00	下山
13:00-14:30	市内で昼食

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

ユネスコ生物圏保護区に登録された理由など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ ジャングルクルーズ



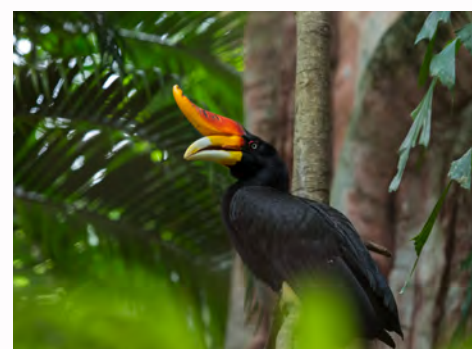
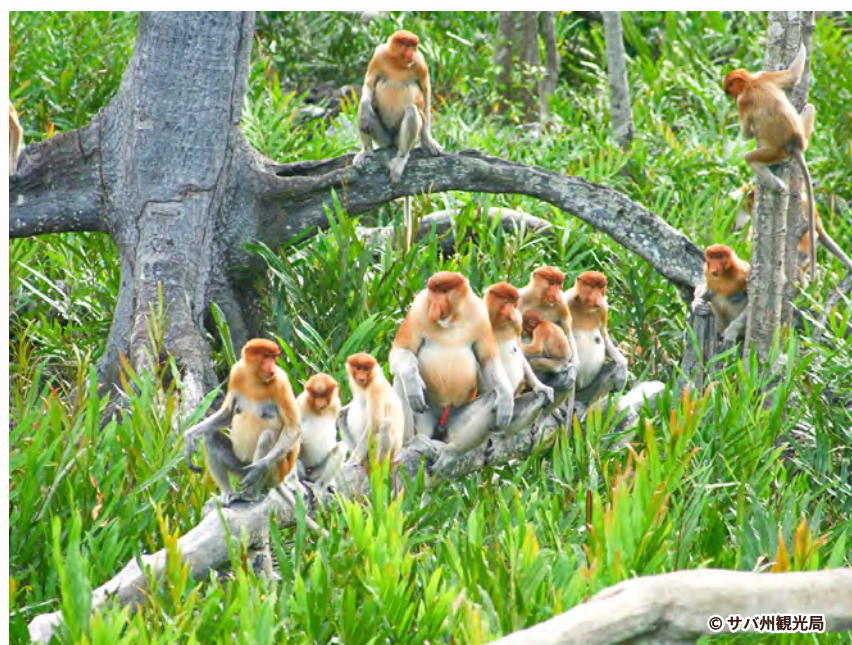
テーマ：絶滅危惧保護、生態系のつながりと多様性

エリア：ボルネオ島 サバ州、コタキナバル近郊

プログラム：ジャングルクルーズ、動植物観察、蛍観察

訪問先：－

川を進みながら、マングローブや希少な野生動物のテングザルや多様な野鳥を観察することができます。このクルーズを通じて、熱帯雨林の生態系とその重要性について理解を深め、自然環境の保護の大切さを学びます。また、夜の蛍鑑賞では、自然の神秘的な側面に触れることができ、自然への敬意と理解を深める機会となります。水上からの視点で自然を観察することで、異なる視角から環境への意識を高めることができます。



サンプルスケジュール

13:00	市内ホテル出発
15:00-16:00	ジャングルクルーズ乗船、マングローブ・テングザルを観察
16:00-18:00	休憩・夕食
18:00-19:30	ホテル鑑賞
21:30	市内ホテル帰着

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

ボルネオ島に住む動物など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ バコ国立公園トレッキングと植樹体験



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

ボルネオ島固有の動植物など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

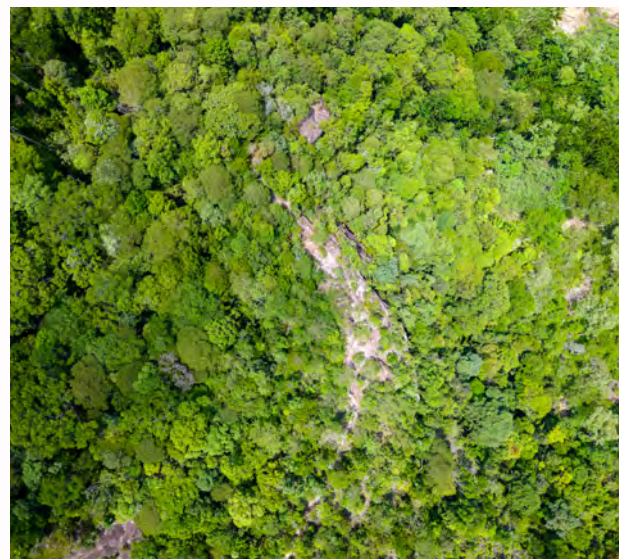
テーマ：自然保護、マレーシア固有の生態系

エリア：ボルネオ島 サラワク州、クチン

プログラム：国立公園内トレッキング、植樹体験

訪問先：国立公園、植物園
バコ国立公園、サラワク植物公園

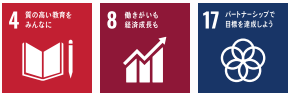
バコ国立公園では、熱帯雨林を歩くトレッキングを通じてマレーシアの多様な生態系を体感できます。マングローブから熱帯樹林まで異なる植生帯を観察でき、固有植物や珍しい野生動物との出会いも魅力です。サラワク植物公園では植樹体験を通じて自然保全の大切さを学びます。固有の植物多様性を理解でき、環境と共生する生態系を学ぶ機会となります。



サンプルスケジュール

8:00	市内ホテル出発
10:00	バコ国立公園到着
10:30	熱帯雨林の中をトレッキング、動植物を観察
12:00	国立公園内でお弁当
14:00-15:00	サラワク植物公園で植樹体験

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！
 専門学校での調理実習と学校交流



テーマ：異文化理解、国際交流
 エリア：マレー半島南西部 セランゴール州、スラヤン
 プログラム：マレーシア料理調理実習、国際交流
 訪問先：コミュニティ・カレッジ
 Kolej Komuniti Selayang（スラヤン専門学校）

マレーシアには高校や大学の他に、国の教育省、高等教育省等が管轄する職業訓練校や技術専門学校があります。学生達と一緒にマレーシア料理の調理実習をしながら、地元の学生達とお互いの食文化や学校生活等について話をしてみましょう。



サンプルスケジュール	
8:30	市内ホテル出発
9:30-10:00	学校到着、歓迎式典
10:00-10:30	調理室に移動して自己紹介
10:30-12:30	マレーシア料理調理実習
12:30-13:30	調理した料理で昼食、国際交流
14:00	修了式典

スラヤン専門学校



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

マレーシア料理にはどのようなものがあるかなど

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！
UKファーム



テ ー マ：持続可能な農業
エ リ ア：マレー半島南部 ジョホール州、クルアン村
プログラム：牧場見学、BBQ、ランタン上げ
訪 問 先：UKファーム

ジョホール州のUKファームでは、有機農法による牧草栽培から商品生産まで、環境に配慮した高品質なヤギのミルクを生産しています。循環型農業の重要性を実際に体感しながら学ぶことができ、持続可能な農業の実践を学べる貴重な機会です。牧場内でのバーベキュー夕食の後には、幻想的なランタン上げの体験が待っています。大空に浮かぶランタンの光景は、心に残る一生の思い出となることでしょう。



サンプルスケジュール	
13:00	市内ホテル出発
14:30	UKファーム到着
14:30-16:30	ファーム内見学
16:30-17:30	SDGsの取り組みに関する講義
17:30-18:30	バーベキュー夕食
18:30-19:30	ランタン上げ体験
21:00	ホテル到着



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

有機農法とはどのような農法かなど

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ オラン・アスリ ジャングルスクール



テーマ：共存社会、自然との共存

エリア：マレー半島南西部 セランゴール州、ブキッ・ラゴン村

プログラム：ジャングルトレッキング、オランアスリ文化体験

訪問先：ブキッ・ラゴン、オランアスリ村

マレーシアは多民族国家で、先住少数民族「オラン・アスリ」は独自の文化と生活様式を受け継いでいます。自然と深く関わりながら生きてきた彼らの知恵や価値観を学び、伝統文化を守りつつ現代社会と共生する取り組みを体験します。熱帯雨林ジャングルでは、彼らの指導のもとトレッキングを行い、自然との共生の大切さを学びます。



サンプルスケジュール

9:00	市内ホテル出発
9:40	オランアスリ村に到着
9:40-10:00	歓迎セレモニー
10:00-11:30	オランアスリとジャングルトレッキング
11:30-12:10	オランアスリの竹筒料理で昼食
12:10-13:30	ヤシの葉クラフト体験や吹き矢などのアクティビティ



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

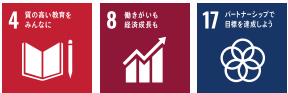
マレー半島の先住民族にはどんな部族があるかなど

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！
日系企業訪問



テ ー マ：多文化共生、グローバル人材育成
エ リ ア：マレー半島中南部 クアラルンプール、ブキッピンタン
プログラム：マレーシア進出している日系企業訪問
訪 問 先：日系商業施設 三井ショッピングパーク ららぽーとブキッピンタンシティセンター

マレーシアに進出している日系企業を訪問します。マレーシアに進出した時の背景や、日本との文化の違いなどを実際に働く方の講演を聴き、日本との違いや国際的な視点を学びます。地元の人も利用するフードコートやスーパーマーケットを実際に利用して、現地の生活に触れてみましょう。



サンプルスケジュール	
9:30	市内ホテル出発
10:00	到着後、ミーティングルームへ移動
10:00-11:00	現地の日本社員の方より、施設の概要やマレーシア進出、文化の違い等の講演、質疑応答
11:00-12:00	施設内見学
12:00-13:00	フードコートで昼食
13:00-13:30	スーパーマーケットを見学・買い物

三井ショッピングパーク ららぽーと
ブキッピンタンシティセンター



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

マレーシアの経済状況や日系企業の進出状況など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ カンポンビジット - ジョホールバル近郊



テーマ：多様性、異文化理解

エリア：マレー半島南部 ジョホール州、アエ・ヒタン村

プログラム：カンポンビジット（ホームスティ）

訪問先：アエ・ヒタン村

郊外の村（カンポン）を訪問し、そこで暮らす人々の日常や土地の文化・風習に直接触れる異文化体験プログラムです。日本旅行と提携する「アエ・ヒタン村」は、ジョホールバルから車で約1時間、シンガポールから約1時間半で行ける利便性と清潔な一般家庭での異文化体験が人気のプログラムです。



▲ チョンカで遊ぶ様子

サンプルスケジュール

8:00	市内ホテル出発
9:30	カンポン到着
9:30-10:00	村内見学
10:00-12:00	民族衣装に着替えて、チョンカなどのアクティビティ体験
12:00-13:00	家庭料理の昼食

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

マレーシアの伝統的な遊びや家庭料理など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ カンポンビジット - マラッカ近郊



テーマ：多様性、異文化理解

エリア：マレー半島南部 マラッカ州、アエ・リマウ村

プログラム：カンポンビジット（ホームスティ）

訪問先：アエ・リマウ村

郊外の村（カンポン）を訪れ、そこで暮らす人々の日常や土地の文化・風習に直接触れる異文化体験プログラムです。マラッカは歴史的・文化的に重要な場所であり、訪問者はこの地域の背景や歴史を学びながらカンポンビジットを通じて、マレーシアのリアルな文化や伝統に触れることで、マレーシアの文化理解を深める貴重な体験となります。



▲ シラット（伝統武術）

サンプルスケジュール

8:00	市内ホテル出発
9:30	カンポン到着
9:30-10:00	歓迎セレモニー、シラット（伝統武術）パフォーマンス
10:00-12:00	村内見学、ゴム園・アブラヤシ園見学
12:00-13:00	家庭料理の昼食
13:00-13:30	クロージングセレモニー

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

マレーシアの伝統武術やゴムの木、アブラヤシの用途など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！
世界文化遺産マレーシア森林研究所 FRIM



テ ー マ：生物多様性、自然との共存
エ リ ア：マレー半島南西部 セランゴール州、クアラルンプール郊外
プログラム：FRIM活動内容講義、キャノピーウォーク
訪 問 先：マレーシア森林研究所 (FRIM)

熱帯林研究で世界的に知られる国立機関です。動植物の生態系研究に加え、森林資源の持続的利用や森林エコロジー研究の知識を活かした製品開発にも取り組んでいます。広大な森林での植物観察やキャノピーウォークを通じて、生態系の多様性や森林保全の重要性を学べます。



サンプルスケジュール	
8:00	市内ホテル出発
9:30	FRIM到着
9:30-10:30	FRIMの活動についてのセミナー、展示物見学
10:30-12:00	レンジャーとキャノピーウォーク

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

世界遺産に登録された理由など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ マレーシア政府観光局訪問



テーマ：持続可能な観光、地域振興、経済発展

エリア：マレー半島南部 プトラジャヤ

プログラム：マレーシア政府機関訪問、モスク見学

訪問先：マレーシア政府観光局、プトラモスク

マレーシアの魅力を世界に発信し、観光誘客を行う政府機関で、日本でも東京と大阪に支局があります。本局を訪れ、観光政策や地域振興の戦略などを学び観光業が地域経済や文化に与える影響を学びます。



サンプルスケジュール

8:00	市内ホテル出発
9:00-9:45	プトラモスク見学
10:00-11:30	政府観光局訪問、職員より講話、質疑応答
12:00-13:00	プトラジャヤにて昼食

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

観光業が地域経済に与える影響など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！
マレーシア農業・食糧安全保障省訪問



テ ー マ：持続可能な農業、環境保全
エ リ ア：マレー半島南部 プトラジャヤ
プログラム：農業・食糧安全保障省訪問、モスク見学、農業歴史公園
訪 問 先：マレーシア農業・食糧安全保障省訪問、プトラモスク、農業遺産公園

日本の気候とは異なるマレーシアの農業について学びます。パームヤシ等のプランテーション農業から、熱帯気候を活かしたフルーツ栽培、平野部や高地ではそれぞれの気候にあわせた農作物を育てています。農業遺産公園では、実際の農作物を見学できます。



サンプルスケジュール	
8:00	市内ホテル出発
9:00-9:45	プトラモスク見学
10:00-11:30	農業・食糧安全保障到着、職員からの講話と質疑応答
12:00-13:00	プトラジャヤにて昼食
13:00-14:30	農業遺産公園見学



▲ プトラモスク

訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

マレーシアの主要な農作物など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 3

現地学習でさらなる発見と知見を広めよう！ ハラル産業開発公社訪問



テーマ：多文化共生、産業理解

エリア：マレー半島南部 クアラルンプール

プログラム：ハラル産業開発公社訪問

訪問先：ハラル産業開発公社 (HDC)

マレーシアは国教であるイスラム教を成長戦略の柱とし、「マレーシアをハラルハブに」を掲げてハラル産業の発展と国際展開を進めています。食品に限らず、化粧品、医薬品、観光など多分野に拡大し、世界的に巨大な市場を形成。ハラルを学ぶことは、宗教理解だけでなく、国際経済や持続可能な社会づくりを考える貴重な学びにつながります。

サンプルスケジュール

8:30	市内ホテル出発
9:30-11:30	公社にてセミナー＆ハラル商品展示場視察
12:00-14:00	ショッピングモール視察、ハラル食品の見学 レストランでハラルメニューの昼食を体験



Halal Development Corporation



ハラル商品販売までの流れ



訪問先や体験するプログラムについて調べておこう

ハラルの意味や身近なハラル製品など

学んだことや新たな発見、気づいたことなどをまとめておこう

日本との違いや共通点について考えてみよう

感じたことなど自由に書いてみよう

STEP 4

学習の総まとめ

現地学習で学んだことを振り返ろう！

マレーシアで様々な体験をされたと思います。訪れた場所の印象の変化や出会った人たちの笑顔、日本との違いや様々な価値観、多くの発見があったかと思います。事前学習から現地での体験から学んだことを振り返りましょう。

現地での体験を通じて、一番印象に残ったことは何ですか？

実際にマレーシアを訪れて、認識や意識の変化はありましたか？

異なる文化を受け入れることの重要性について、あなたが感じたことは何ですか？

旅の中で出会った人々や文化、体験から得た学びをこれからの生活にどう活かしていくか自由に表現してください。

現代のグローバル化に対応できる人材となるために、異文化体験や様々な背景を持つ人々との交流を通じて、真の多様性と共存社会の重要性を理解できたことでしょう。将来、皆さんが大きな視野を持った国際人として活躍されることを期待しています。

MEMO

